

歓迎 組合加入
先週も支部で3名加入
新学期 11名

北多摩東ニュース

2012
第4号

都教組北多摩東支部
電話 (042) 384・2941
FAX (042) 384・7904
kita-higasi@mvc.
biglobe.ne.jp

30人学級実現「笑顔署名」



夏の「文部科学省原案」に この願いが反映するように

8月末に政府予算に向け
た文部科学省概算要求が省
内でまとめられます。
ゆきとどいた教育を実現
させるための願いを盛り込
ませましょう。

職場、家族、地域と一人
でも多くの署名を集め、子
どもたちの笑顔が輝く、ゆ
きとどいた教育を前進させ
ましょう。署名にご協力お
願いします。

【寄稿】

「異議あり、

武道の必修化」

学校は、子どもたちにとつて安全で安心のできる所であってはなりません。ところが、今回の学習指導要領の改訂によって、子どもたちの安全が脅かされかねない状況が作られています。武道の必修化です。

国・文科省は把握していませんでしたが、ある大学の准教授の調査によると、学校での柔道に起因する死亡事故が最近の29年間でなんと11

7人、ほぼ同時期に障害を負った子どもは275人になっていることがマスコミで報道されました。

私自身も、7年前の柔道事故でいまだに右膝痛が完治せず、リハビリを余儀なくさせられています。

相手を倒すこと、押さえ込むことを目的としたこの運動種目においては、いくら「安全に配慮」したとしても、他のスポーツよりも高い確率で、事故は起こります。

日本の伝統文化であるからとは言え、このような危険をはらむ運動種目を正課体育で男女とも必修にすることには

問題を感じざるを得ません。

体育施設が十分に整っていないこと、指導者の問題、年間カリキュラムでの位置づけなど、未解決の問題が残っています。

武道を好きな人が自分で選択して行うことや、武道が国際的に広まり発展することとは意義があることだと思いますが、だからと言ってそれを一律に学校現場に押しつけるやり方には賛成できません。

歴史を調べてみて、気づくことがあります。

1882年に嘉納治五郎が講道館柔道を始めるわけですが、後には軍事的色彩を強め

ていきました。

1931年(満州事変の年) 中学校で武道必修化、1941年(真珠湾攻撃の年) 小学校が国民学校と改称され武道を必修化。

戦後、武道は学校体育から排除されてきましたが、1986年に格技から武道への名称変更、1989年から選択履修。そして2008年の改訂で正課必修となっています。

歴史は繰り返す、と言われるが、必修化実施の今年が、後世「消費税増税、普天間基地固定化の年」だった、とならぬことを願います。

(小金井二中 横森 茂樹)

◇都教組の各市の地区協は、市教委に武道必修化に伴う研修や安全配慮のための対応を求めて申し入れ・懇談を進めています。